

であいの里広報

令和5年7月15日(2023年) No.159
 出合校区協議会(であいの里) 兵庫県養父市出合 249
 Tel 079-667-8020・Fax079-667-8022
<http://www.deaikyo.com/>(ホームページ)
 facebook 出合校区協議会検索

令和5年6月23日(金曜日)

令和5年度出合校区協議会・スポーツクラブ21 であい総会 開催

出合コミュニティスポーツセンター体育館におきまして、総会を開催しました。58名(委任状含む)の出席をいただき、議長に上田史朗氏を選任、皆様の協力を得ながら令和4年度事業報告、決算報告、役員改選、令和5年度事業計画、予算等各議案すべて原案のとおり承認していただきました。前田新会長を中心に令和5年度がスタートする運びとなりました。(内容はであいの里広報で随時お知らせします。)



新役員から令和5年度事業計画案を提案

新会長あいさつ 前田高志



大雨が降ったかと思うと、盛夏の如く30℃を超える日々が続き体調を崩し易い日々が続いておりますが、皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

改めまして、皆様こんにちは。出合校区協議会の新会長という大役を仰せつかりました、川原場区長の前田高志でございます。

私よりも経験豊富でいらっしゃる、区長様方々の中で私が会長職を賜りました。心許せる三島事務局長を迎え、校区の皆様全員を対象に新規事業等も、精力的に取り組みたいと思います。目的思考に立ちクオリティーの高い事が、出来ます様に全力で邁進致します。

当然 新米会長のことでございます米田前会長の御助言、各部会の皆様はもとより校区民お一人お一人のご協力が無ければ、成しえる事ではございません。

皆様方のご協力を心底お願い致しまして、ご挨拶と致します。

7月5日(水)・7日(金) マックスバリュ専用車:8区で移動販売 買物支援事業 試験的に実施

今年度の出合校区協議会の重点項目でもあります、買物支援事業の取り組みとして、7月5・7日の二日間、試験的に実施しました。

今回実施した状況を基に意見集約し改善しながら継続していければと考えています。ご意見ご要望など何でもお知らせください。

7/5	区	時間(着)	購買人数	7/7	区	時間(着)	購買人数	
1	であいの里	10	50	8	1	出合	11 30	9
2	小路頃	11	25	4	2	安井	11 45	14
3	川原場	11	49	6	3	鶯縄	12 32	9
4	葛畑	12	31	9	4	轟	13 05	6
5	別宮	13	5	8			120分	38
			160分					35



★★★ 事務局長 あいさつ ★★★

今年の6月から、出合校区協議会の事務局長としてお世話になっております三島です。事務局長という重責に見合う仕事ができるかわかりませんが、先輩方の助言を頂きながら少しでも皆様のお役にたてるよう務めてまいりますので宜しくお願いします。事務局長 三島導一



関宮学園3年生の活動

7月1日(土)関宮学園3年生22名と保護者のみなさんが、轟大根の種まき体験を済ませたあと、出合コスモ体育館でドッジボールを楽しみました。梅雨の最中でしたがちょうどその日は曇り空、よかったね!

関宮学園トピックス

S1グランプリ

関学版M1、S1グランプリを行いました。我こそはと思う1~6年生の子どもたちがステージで芸を繰り広げました。今年は、11月3日(金)の関宮学園文化祭の幕間コトに5・6年生の子どもたちもチャレンジできればと思います。

関宮学園 HP

<http://yabuboard.ed.jp/sekimiyagakuen/>



裏面を「覗く」だけ



残しておきたい懐かしい思い出など (パート6)

出合小学校はなくなり関宮小学校、関宮中学校の校歌も代々変わっています。一部資料 関宮学園提供



改築前の昭和30~40年代の頃の出合小学校 (現建物は昭和52年建築)

〔平成十六年三月 閉校〕
「出合小学校 校歌」 作詞 今井広史

(一) 天地のみどりの中に
澄みわたる八木の川瀬の
せせらぎを心にしめて
健やかに清く明るく
生い立たんわれらのねがい

(二) 大空にそびえて立てる
氷山や鉢伏山を
あこがれの姿とおおき
朗らかに強く正しく
伸びやかにわれらの望み

(三) 山川と人の情に
恵まれし出合の里の
幸多き学びの庭に
うるわしくむつまじく
いそしまんわれらの努め

「関宮学園 校歌」(前期課程)
 令和二年四月一日関宮学園開校
「関宮小学校 校歌」
 平成十六年四月 四小学校統合)

(一) 紺碧の
空にそびえる 氷ノ山
見上げて育つ 学び舎の
希望は高く 伸びやかに
明日にホップ 但馬っ子
輝く未来へ
さあ翔けよう

(二) 澄みわたる
八木の流に 鮎はねて
若い命は たくましく
自然に学ぶ 知恵と愛
明日にステップ 但馬っ子
自由の未来へ
さあ翔けよう

(三) 風かおり
緑萌えたつ 鉢伏の
恵みの大地に のびゆく芽
誇る文化も 高らかに
明日にジャンプ 但馬っ子
平和の未来へ
さあ翔けよう
おおい関宮 学園

〔昭和四十年頃まで〕
「関宮中学校 校歌」
 作詞 岡垣 徹治
 作曲 井澤 文太郎

(一) 五百重の嶺に秀でて高き
氷の山にぞ心はたくへ
自ら進みつとめを果し
業にいそしむ
人としたたむ

(二) 深き谿間に
泉と湧きて
八木の流れの
行末とほく
清らに廣き
知をば磨きて
いよよ正しき
国としなむ

(三) 人とふ人を すべて敬ひ
力あわせて 信を盡し
はらからのごと つね愛しみ
とはに榮ゆく 世とし築かむ



関宮学園 (後期課程) 校歌
 (令和二年四月一日から)
「関宮中学校 校歌」
 (昭和四十年四月頃から)

(一) 仰ぎみる 鉢伏のやま
朝日かげ 八木のかわなみ
春秋の めぐみあふれて
あな美し これぞふるさと
これぞふるさと

(二) 見よここに 白亜の学舎
輝きて 山峡にたつ
友がきと つどいて学ぶ
青春の いかたのしき
いかにたのしき

(三) 忘れじな われらの母校
忘れまじ 師のきみの恩
ああとわに 栄えあれかし
関宮 関宮
(われらの中学校)
われらの学園

新校歌が作られた頃の記事(1998年(平成10年)9月23日神戸新聞に掲載されたもの)です。

関宮中学校校歌 大但馬 山万丈 兵庫の校歌—文人知事の面目躍如
格調高く構想雄大な詞 坂本勝氏が妹の作曲で— 「学舎のしらべ」
 関宮中学校は昭和37年、旧関宮中学校と熊次中学校が統合してスタートしたが、実際に新校舎が完成して開校式が行われたのはその二年後。元の二校の校歌に代わる新校歌が作られたのもこの時だった。

「作詞は坂本さんをお願いしよう」—
 そう決めたのは故・田淵繁政初代校長と、当時の同町教委職員、千葉純一郎さん(60)=芦屋市在住。
 この時、既に坂本氏は持論の「知事二期八年論」を貫いて知事のイスから退いていたが、知事時代に無灯火村の解消や但馬文教府の設立などに熱心に取り組み、但馬への並々ならぬ愛情、温情を示した。しかも文才がある。
 田淵校長は「思い出記」という一文に、作詞以来のいきさつをこう記している。
 「ハチ高原を愛され、広くは但馬を愛された知事さんでした。校歌は作詞作曲とも、公募したいという町長さんをはじめ、大方の考えでしたが、私はこの坂本知事さんにこそ作っていただくべき、と鉄の決心をしていましたので、とうとう私にまかせていただきました。何度も誠意と情熱のあらん限りをつくしてお願いしても、ご承諾いただけませんでした。とうとう奥さんのお助けによって承諾を得ました。」

田淵校長は芦屋の坂本宅までたびたび足を運び、懇願要請したらしい。当初、坂本氏は「校歌作りというのは難しい」と固辞したが、校長の熱意に押されて承諾。三十九年秋、作詞取材のために同校を訪問し、翌春、完成した曲詞を渡した。学校には校歌のための予算はほとんどなく、ボランティアに近い形だったようだ。
 「大但馬 山万丈 / 大但馬 河千里」で始まる詞は、構想雄大で、格調高く、但馬の誇り、自然、若人の青春を高らかに詠う。坂本氏の、但馬へのあふれるような思いは、生徒を、教師を、町民を感動させた。「関宮中一校の校歌というより、但馬全体を歌ったような素晴らしい詞。もったいない気がしたほど」と千葉さん。
 ◇曲は、坂本氏の実妹で、神戸女学院音楽部卒のピアニスト・小森光代さん(八十九)=神戸市灘区在住=がつけた。「出だしに一番苦労した。少々音程が外れてもいいから、堂々と胸を張り、ドラマチックに歌ってほしいと作曲しました」と回顧する。この兄妹コンビの作詞作曲で、三校の校歌が作られたが、「中でもこれは兄のお気に入り。酔ってゴキゲンなとき、ときおり『大但馬、山万丈』とくちずさんでいました。」

もう忘れかけている子どもの頃の遊び唄、思い出しながら書いてみました。一部はネットより引用

(歌って最後にジャンケンポン)
 一かけ二かけ三かけて
 四かけて五かけて橋をかけ
 橋のらんかん腰をかけ
 はるか向こうをながむれば
 十七八のねえさんが
 線香を持って花持って墓参り
 ねえさんねえさんどこ行くの
 私は九州鹿児島西郷隆盛娘で
 す
 明治十年三月三日切腹なされた
 父上のお墓参りをいたします
 お墓の前で手を合わせ
 南無阿彌陀仏と拝みます
 拜んだ後から
 魂がふんわりふんわり
 (ネットより引用)
「近江八景」(三井寺の鐘の音)
 作詞・作曲者 不詳

(一) 三井寺の鐘の音
澄み渡る夕暮れ
初雁も堅田に声立てて落ち来ぬ
ひとり立てる唐崎の老松
ひたり波か淋しげに響くは
雨か波か淋しげに響くは

(二) 今なお身にしむ粟津野秋風
いずかたぞ昔の兼平の石碑
瀬田の夕日とこしえに淋しく
比良の暮雪いつ見ても美しく

(三) 月の影さやかに澄み昇る石山
千代かけてしのぶは紫のその筆
山田・矢走見え渡る名どころ
さして帰る舟の帆も三つ四つ

口伝えで変わっていったのでしょうか・・・
 面白い歌詞もあったのですね

（お手玉のうた）
 (みいれえらのと歌っていたような)
 小石遊び ヒトヒト (石なんご)
 ヒトヒト 広いが大阪
 フタニタ 降らんが天気じゃ
 ミイミイ 見えんがめくらじゃ
 ヨーヨー 養蚕カイコじゃ
 イツイツ いんだら我が家じゃ
 ムームー 村岡絞リじゃ
 ナーナー 七尾の天滝
 ヤーヤー
 コーコー
 ナーナー ななつ止め

（お手玉のうた）
 (みいれえらのと歌っていたような)
 小石遊び ヒトヒト (石なんご)
 ヒトヒト 広いが大阪
 フタニタ 降らんが天気じゃ
 ミイミイ 見えんがめくらじゃ
 ヨーヨー 養蚕カイコじゃ
 イツイツ いんだら我が家じゃ
 ムームー 村岡絞リじゃ
 ナーナー 七尾の天滝
 ヤーヤー
 コーコー
 ナーナー ななつ止め

残しておきたい懐かしい思い出—思い出したら投稿してください。